

令和6年度 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業

多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築支援研修

時間	内容
10：00～10：05	開会
10：05～10：25	行政説明 厚生労働省 精神・障害保健課
10：25～10：45	講義「障害福祉の立場から見た診療報酬改定」 社会福祉法人じりつ 理事長 岩上 洋一 氏
10：45～11：15	講義「医療と福祉の連携と「にも包括」」 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 地域精神保健・法制度研究部 部長 藤井 千代 氏
11：15～11：25	休憩
11：25～12：20	グループワーク
12：30	閉会・事務連絡

資料等

次第

参加者名簿

資料1：多様な精神疾患等に対応できる
医療連携体制構築及び精神保健医療
福祉行政の動向

資料2：障害福祉の立場から見た診療報酬改定

資料3：医療と福祉の連携と「にも包括」

資料4：ワークテーマについて

ワークは医療計画策定に関わる都道府県と、策定しない区市等で分かれてテーマを設定。前者は都道府県内における医福連携の在り方と役割分担を考えるワークとし、後者は市町村の立場から医福連携を促進するために取り組むべき事項について検討する。

時間	【都道府県】 ※ 1 都道府県 = 1 グループとする	【指定都市・中核市・特別区・その他保健所設置市】 ※ 同規模の 5 市程度を 1 グループとする
11:25～11:30 (10分)	ワーク説明	
11:30～12:20 (50分)	<p>ワーク① 「都道府県内における福祉と医療の連携」</p> <p>…施策の流れを踏まえ、保健福祉サイドの現状から、「にも包括」構築の中で医療に何を求めるか考える</p> <p>ワーク② 「医療計画担当として担うべき事項」</p> <p>…①の内容を踏まえた医療サイドの役割を考える</p> <p>※いずれのテーマも、医療計画策定担当や生涯福祉計画策定担当が揃っていないグループについては、参加者が所属する立場から、「医福連携に向けて必要な事項」と「都道府県・市町村の役割分担」について検討する</p>	<p>ワーク① 「講義を聞いたうえでの気づきの共有」</p> <p>…本研修で学んだ医療計画と福祉計画の連動性や「にも包括」との関係性等を踏まえ、自らの担当自治体での医福連携の状況を振り返り、グループ内で共有し合う。</p> <p>ワーク② 「医福連携の促進に向けて市町村内で取り組む事項」</p> <p>…グループ内他市町村の状況等からも気づきを得ながら、自らの担当市町村においてこれから取り組むべき事項を検討し、目下取り組むべきアクションを導き出す。</p> <p>…医福連携の促進に向け、市町村と都道府県の役割分担としてどのようなものが考えられるか検討する。(都道府県のバックアップが欲しい事柄は何か)</p>
12:20～12:30 (10分)	発表 (都道府県・市町村等、それぞれ 1 グループずつ想定)	